

令和元年度第2回総合教育会議 会議録

1 会議の名称 令和元年度第2回総合教育会議

2 会議の日時 令和2年1月24日（金） 午後1時55分～午後2時40分

3 会議の場所 中之条町役場 応接室

4 会議に出席した構成員

町 長	伊能 正夫
副町長	野村 泰之
教育長	宮崎 一
委員（教育長職務代理者）	登坂 初夫
委 員	清水 博巳
委 員	高橋 久夫
委 員	山口 貴美子

5 会議に出席した職員

こども未来課長	倉林 敏明
生涯学習課長	富沢 洋
教育指導係長	矢嶋 将之
六合振興課補佐兼総務係長	山本 伸一
総務係長	山田 秀隆

6 会議を傍聴したもの

な し

7 議 事

- (1) 六合中学校のあり方について
- (2) その他

8 その他

・各校園所の状況について

9 会議における議事の経過及び発言要旨

○ 開会（こども未来課長）

○ 町長挨拶

第1回目の総合教育会議の中では、中之条中学校への統合を検討するというところで、方向性が

出たが、その通学方法をどうするかという事が大きな課題として残ってきたわけである。本日、教育委員会より案をお示しし、これについてさらに検討が必要な事について、意見を出していただき慎重審議をお願いしたい。

○ 教育長挨拶

9月24日に第1回の総合教育会議を開催し、六合中学校のあり方について、中之条中学校への統合の方向で、調査・研究を進めていくという方向性が出された。その後、教育委員会で協議を進めてきた。通学時間を短縮するには、どのように進めていけば良いのか。それには予算が必要になってくる問題である。また、暮坂峠を使うことになると、冬の除雪の問題も出てくる。こういったことを含めて、中之条中学校への統合を進めていくとすれば、どうしていけば良いのかご協議いただきたい。

○ 議事（議事進行 町長）

（1）六合中学校のあり方について

こども未来課長から六合小学校・六合中学校生徒推移表、中之条中学校への通学方法のA～Dまでの4つの案について、資料にて説明を行う。

【質疑・意見等】

（教育長）

教育委員会では、4パターンの案について、1月16日の定例教育委員会で提示し、協議していただいた。通学時間は、1時間程度見込むのが良いだろうということで考えてきた。

A案は1時間15分、B案は1時間23分、C案は1時間3分、D案は1時間28分となっている。中之条地区では、一番通学時間がかかっているお子さんは、約1時間程度である。これが検討する中で、目安ではないかと考えている。そうするとC案がより近い案となる訳だが、C案では、ワゴン車ではなく、乗車タイプのスクールカーが用意できれば、試算の時間で運行ができると考えている。

これには、予算がかかることであり、了承を得てから業者への確認を行っていかねばならないと考えている。また、同意を得られれば、スクールバスの運行を行っている、六合地区のローズクイーン、中之条地区の共立メンテナンス、タクシーということであれば、タクシー業者に確認を取って行きたい考えである。

（副町長）

朝が一番大事だと思うが、帰りはどう考えているのか。

（教育長）

現段階では、朝と同じ方法でと考えている。

部活が問題となると思う。部活をやらない生徒については、学習室や図書室で学習をして待つと同じ時間で下校するということが考えられる。

（町長）

帰りについては、3年生は部活を引退してからは、帰りの時間を待っていないと

いう事になる。パターンの的にいろいろな調整が難しいこともあると思う。

全て、暮坂まわりを考えているのか。

六合振興課補佐兼総務係長、資料により説明。

(町長)

実測は行っているのか。

(六合振興課補佐兼総務係長)

実測は、行っていない。案の中で、スクールバスを利用する区間は、現在行っている時間で算定し、スクールカーを利用する区間は、インターネットで計算した時間である。実測した区間もあるが、それと比べても、インターネットで計算した時間とで、それほど違いはないと考えている。

(町長)

この案で決めていくにも、業者が請け負うかどうか問題となる。仮に業者が、運転手を増やして対応するとなると、人材があるかどうか業者にとって問題となることも考えられるだろう。机上の案では、想定できない部分でもあるので、方向性が決まれば、実測を含めて業者にも確認が必要になる事である。

教育委員会で話しが出ているが、通学時間は1時間程度が良いということで、暮坂峠を通るのであれば、道路改良等について土木事務所に話しをするということは可能だと思う。

C案で調査を進めていくということで、よろしいか。

(教育長)

いずれにしても、4案にスクールカー、またはタクシーが絡んでくることになる。これが解決しないと、中之条中学校へ通学するのは、難しくなると考える。まずは、事務局の方で、スクールカー、タクシーが出せるのかどうか、概算費用はどれくらいなのか調査を行いたい。

(登坂教育長職務代理者)

通学時間が1時間としても、乗り継ぎがない方が良いと思う。子供達に負担のかからない方法が良いと考える。

(町長)

C案のタクシー業者に確認して良いかどうか、タクシーに限らず、スクールカーの活用ができるかどうか教育委員会の方で調査・研究するという事によろしいか。

異議なく了承。

(清水委員)

部活の終わり時間は何時になっているのか伺いたい。

(教育指導係長)

学校要覧より説明。

- ・夏時間 4月－10月まで 18時10分まで 下校時間18時30分
- ・冬時間 11月－2月まで 17時10分まで 下校時間17時30分
- 3月のみ 17時40分まで 下校時間18時00分
- ・朝練習 7時30分から8時00分まで

(町長)

六合地区で現状で一番遠い場所は。

(六合振興課補佐兼総務係長)

田代原地区で、通学時間は40分から42分

(登坂教育長職務代理者)

四万は朝何時に出ているのか。

(教育長)

約1時間程度かかり、7時10分から15分に学校に着いている。

教員の働き方改革で、部活動の問題が取り上げられている。

平日2時間部活動の時間を確保できるときには、朝練習は極力無しにするという方向が出されている。土日の部活動も一日3時間程度、平日は2時間程度ということは今後、徹底していかななくてはならないとも考えている。教職員の時間外労働が月45時間以内という基準が来年度から実施される事もあり、部活動についても考えていかななくてはならないと思っている。

例えば、朝練習は無しということも有り得ることだと考えている。

(町長)

子供達になるべく負担がかからない通学ができる様に検討していくには、方向性が出れば、教育委員会だけではなく、建設課や警察、土木事務所等関係する部署としっかり協議し、進めていかななくてはならないと考えている。

(2) その他

なし

○ その他

- ・各校園所の状況について

(教育指導係長から状況報告)

- ・不登校児童・生徒について、管内4校において、21名の報告がある。

このうち2名は、4月より全欠ということで特に対応が迫られる。2名とも進学・進路のこともあり、丁寧な対応をしている状況である。

- ・いじめについて、それぞれ、月に3件ほど認知されているが、軽微なものが多く、重大事案

につながる案件は無い。

- ・問題行動については、今年度は自傷に係る報告が多くなっており、心配される。学校では、報告された月のみでなく、引続き丁寧に見取りを行っているところである。
- ・適応指導教室「虹」について、4月当初6名の在室ではじまり、現在は10名の在室となっている。今年度、指導員が2名体制となったことにより、学校と連携を図りながら対応ができています。

(教育長)

先程の議事の中で、C案について調査・検討を行うということで、方向性が出された。

出来るだけ早く、事務局の方で関係会社と折衝を行いたいと考えている。

方向性が出るようならば、実測も行いたいと思っている。できれば、次回の総合教育会議を2月には開催したい。無理ならば年度内に開催したいと考えている。その際には、日程調整をお願いしたい。

1 1 閉会 (こども未来課長)